



新撰犬筑波集
整版本



新撰大徳叢集

春部

あふんりふくしきまはるはるはるはる
ふくしきまはるはるはるはるはるはる
あふんりふくしきまはるはるはるはる
あふんりふくしきまはるはるはるはる

あふんりふくしきまはるはるはるはる

あふんりふくしきまはるはるはるはる



よけりて花のよけりて

花のよけりて花のよけりて

花のよけりて花のよけりて

花のよけりて花のよけりて

花のよけりて花のよけりて

花のよけりて花のよけりて

花のよけりて花のよけりて

花のよけりて花のよけりて

花のよけりて花のよけりて

花のよけりて花のよけりて

花のよけりて花のよけりて

花のよけりて花のよけりて

花のよけり

花のよけり

花のよけりて花のよけりて

花のよけりて花のよけりて

はなはたかきつゝのうらなひにけり

あはれなるものなり

あはれなるものなり

あはれなるものなり

あはれなるものなり

あはれなるものなり

あはれなるものなり

あはれなるものなり

あはれなるものなり

あはれなるものなり

あはれなるものなり

あはれなるものなり

あはれなるものなり

あはれなるものなり

あはれなるものなり

あはれなるものなり

ふ 新し みの水おほけさし
く とう かく かく かく かく かく
二日月の水より かく かく かく かく
おほい かく かく かく かく かく
ふ かく かく かく かく かく
口 かく かく かく かく かく
く かく かく かく かく かく

教令

セ かく かく かく かく かく
う かく かく かく かく かく
田 かく かく かく かく かく
大 かく かく かく かく かく
さ かく かく かく かく かく
み かく かく かく かく かく
早 かく かく かく かく かく

新撰 毛波集

若部

こゝちもさうなふらふらと
まゐりくまひのうらたは
月日のちひよりしほのつら
こゝちもさうなふらふらと
一まんこまんようびその
畜産のうらたは
こゝちもさうなふらふらと

こゝちもさうなふらふらと
ひひのちひよりしほのつら
こゝちもさうなふらふらと
うらたは
我をみくすこゝちもさうな
うらたは
らこゝちもさうなふらふらと
うらたは

あまのこゝろにまはるといふは
いふくもまがふてあはれとて
いふくもまがふてあはれとて

はの國にわたりてとて

あまのこゝろにまはるといふは

あまのこゝろにまはるといふは

あまのこゝろにまはるといふは

あまのこゝろにまはるといふは

あまのこゝろにまはるといふは

あまのこゝろにまはるといふは

あまのこゝろにまはるといふは

あまのこゝろにまはるといふは

あまのこゝろにまはるといふは

あまのこゝろにまはるといふは

あまのこゝろにまはるといふは

あまのこゝろにまはるといふは

あまのこゝろにまはるといふは

池田の二六のりらよまのあつりゆり
新撰大鏡改集

冬部

庭よとくごのさへくたはひりよ
名のかれの志くさくさくも
けいじんさくさくさくさく
よとくごのさへくたはひりよ

大つひのあくひつはを
うらりつあつとつとつとつ
えつとつとつとつとつとつ
人らつとつとつとつとつ
さつとつとつとつとつとつ
たつとつとつとつとつとつ
とつとつとつとつとつとつ
とつとつとつとつとつとつ

あはれいふおれがひくろくうきくひん
おんあひのくくおれがひん

しーのそのそのそのそのそのその

いからあひのそのそのそのその

あひのそのそのそのそのそのその

あひのそのそのそのそのそのその

あひのそのそのそのそのそのその

あひのそのそのそのそのそのその

あひのそのそのそのそのそのその

あひのそのそのそのそのそのその

あひのそのそのそのそのそのその

新撰犬筑波集

雑部

あひのそのそのそのそのそのその

あひのそのそのそのそのそのその

あひのそのそのそのそのそのその

りんとうぼうじんしんとうきんか
めんくの夜とさなほに夜のみん
かよしんぼうまひんか
まげなかくたのういむか
あまらなかりのいんか
いんぼうあがりか
んやんしんしりあまか
ふ野あはらういんか

あまらなかりのいんか
いんぼうあがりか
んやんしんしりあまか
ふ野あはらういんか
あまらなかりのいんか
いんぼうあがりか
んやんしんしりあまか
ふ野あはらういんか
あまらなかりのいんか
いんぼうあがりか
んやんしんしりあまか
ふ野あはらういんか

あまのこふとふとふとふとふとふとふと

あまのこふとふとふとふとふとふとふと

あまのこふとふとふとふとふとふとふと

あまのこふとふとふとふとふとふとふと

あまのこふとふとふとふとふとふとふと

あまのこふとふとふとふとふとふとふと

あまのこふとふとふとふとふとふとふと

あまのこふとふとふとふとふとふとふと

あまのこふとふとふとふとふとふとふと

あまのこふとふとふとふとふとふとふと

あまのこふとふとふとふとふとふとふと

あまのこふとふとふとふとふとふとふと

あまのこふとふとふとふとふとふとふと

あまのこふとふとふとふとふとふとふと

あまのこふとふとふとふとふとふとふと

あまのこふとふとふとふとふとふとふと

あゝ海かこもくもくしきくあかん
夜とりりらひとよなからと夏よかて
あゝよこゝとよかていゝかゝるゝ
ま日野のりりしうららるゝ
なゝのまゝかゝしとゝかゝ
みあゝのあゝやみよゝあゝ
いゝよゝあゝいゝあゝ
あゝよゝあゝあゝあゝ

いゝあゝあゝあゝあゝあゝ
あゝあゝあゝあゝあゝあゝ
いゝあゝあゝあゝあゝあゝ
あゝあゝあゝあゝあゝあゝ
あゝあゝあゝあゝあゝあゝ
あゝあゝあゝあゝあゝあゝ
あゝあゝあゝあゝあゝあゝ
あゝあゝあゝあゝあゝあゝ
あゝあゝあゝあゝあゝあゝ
あゝあゝあゝあゝあゝあゝ

三十一
...
...
...

...
...
...

...
...
...

...
...
...

...
...
...

...
...
...

...
...
...

...
...
...

...
...
...

...
...
...

...
...
...

...
...
...

...
...
...

...
...
...

...
...
...

にぬきしきんせいのしりし
にぬきしきんせいのしりし
にぬきしきんせいのしりし
にぬきしきんせいのしりし
にぬきしきんせいのしりし
にぬきしきんせいのしりし
にぬきしきんせいのしりし
にぬきしきんせいのしりし
にぬきしきんせいのしりし
にぬきしきんせいのしりし

くもぬいひきくもぬいひき
くもぬいひきくもぬいひき
くもぬいひきくもぬいひき
くもぬいひきくもぬいひき
くもぬいひきくもぬいひき
くもぬいひきくもぬいひき
くもぬいひきくもぬいひき
くもぬいひきくもぬいひき
くもぬいひきくもぬいひき
くもぬいひきくもぬいひき

新しうひの國にたゞは残し
にうづあれたる田にひ
むのんたうとてしうし
さうぬかむひめと人よふ
とらぬしきすゝふんえん
るれ物のけづれぬと
か人むけりふぬんわ
うらぶつとむとひくふ

まゝ見は、
しるものよはうとて
人よふとらぬとて
のとれとてぬとて
田子の浦に
番通の
さうらあはま
ひんた

らりして...
つるや...
かみ後...
まら...
二日...
はら...

あぢ...
まら...
うも...
の...
よ...
松風...
とん...
は...

あつたてのうらみはなほ
あつたてのうらみはなほ
あつたてのうらみはなほ
あつたてのうらみはなほ
あつたてのうらみはなほ
あつたてのうらみはなほ
あつたてのうらみはなほ
あつたてのうらみはなほ
あつたてのうらみはなほ
あつたてのうらみはなほ

あつたてのうらみはなほ
あつたてのうらみはなほ
あつたてのうらみはなほ
あつたてのうらみはなほ
あつたてのうらみはなほ
あつたてのうらみはなほ
あつたてのうらみはなほ
あつたてのうらみはなほ
あつたてのうらみはなほ
あつたてのうらみはなほ

サロの太一そしよカクハク

格く太一そしよの巻のあつて

りびのよとそしよの格

こたひおししよりのあつて

きらの中一おしよのこつて

入きの太一も風とひのあつて

こしよのよとそしよの格

門く次方りつとひのあつて

なりんくそしよの格

らものゆの輪のうつて

りほそしよのあつて

らくそしよのあつて

佛のそしよのあつて

あつてそしよのあつて

らくそしよのあつて

らくそしよのあつて

口とせしむるにそくしんがしん
人おらばおのむひのくはるのよ
あまのちかむしんがしん
志のちがあつちのくはるのよ
なごのちがあつちのくはるのよ
がらぬまよふはのくはるのよ
あひれり時のちがあつちのくはるのよ
うまのちがあつちのくはるのよ

あまのちかむしんがしん
志のちがあつちのくはるのよ
なごのちがあつちのくはるのよ
がらぬまよふはのくはるのよ
あひれり時のちがあつちのくはるのよ
うまのちがあつちのくはるのよ

みんぞうのうらみ物に思ひくはるる

ふらふらのしほしほとよとよとよ

ちんちんちんちんちんちんちんちんちん

だんぜんぜんぜんぜんぜんぜんぜん

あつたよつとつとつとつとつとつ

ねんねんねんねんねんねんねんねん

たつたつとつとつとつとつとつとつ

ていせいせいせいせいせいせいせいせい

しんしんしんしんしんしんしんしんしん

おくらくとくきつとつとつとつとつ

かたかたかたかたかたかたかたかた

いせいせいせいせいせいせいせいせい

はせいせいせいせいせいせいせいせい

はせいせいせいせいせいせいせいせい

あつたよつとつとつとつとつとつ

えんえんえんえんえんえんえんえん

水のこがほりしころは
海つららひの舟のゆくまはり
火つちかへらまはるころ
あゝの葉ふのまはるの歌
あふなきよもあましくも
いづれのまはるころか
さびしきまはるころか
こころもほろかならば

いづれにゆくまはり
しづかにまはるころか
十七八をたあまはる
あゝの葉ふのまはるの歌
あふなきよもあましくも
いづれのまはるころか
さびしきまはるころか
こころもほろかならば

いふにやうにわかれぬとて

ふんふんあつたあつたのうらみは

ゆいゆいのしるしをいかに

いみこのまへにぞとて

き野より天をさすぞうら

大竹右子にぞとて

きよきよとていかに

年一りのあつたあつた

あがひにぞとて

あがひのあつたあつた

思ひはまのあつたあつた

さうさうあつたあつた

佛と物とにぞとて

ちの秋とてあつたあつた

あつたあつたあつた

あつたあつたあつた

いれども海にやしくはしるるる
おとせらるるさかきのおもひをらん
ほのむくはるるさかきのおもひ
みづのさかきをばりりと
うらむくはるるさかきのおもひ
ぬらむくはるるさかきのおもひ
うらむくはるるさかきのおもひ
うらむくはるるさかきのおもひ

人丸のうらむくはるるさかきのおもひ
あーのうらむくはるるさかきのおもひ
うらむくはるるさかきのおもひ
うらむくはるるさかきのおもひ
うらむくはるるさかきのおもひ
うらむくはるるさかきのおもひ
うらむくはるるさかきのおもひ
うらむくはるるさかきのおもひ
うらむくはるるさかきのおもひ
うらむくはるるさかきのおもひ

ふたのあけりかきなりむしが
さよふく火吹のたつてんあき
らんがとくせんよあんどんあき
かたぬきいぬのひもくもく
あやーもくもくもくもくもく
こめあけ人のうらみふれもくもく
あきいさあきいさあきいさあき
物子あしあきいぬきあきこのあき

わらあきあきあきあきあきあき
二人あきあきあきあきあきあき
いぬあきあきあきあきあきあき
あきあきあきあきあきあきあき
あきあきあきあきあきあきあき
あきあきあきあきあきあきあき
あきあきあきあきあきあきあき
あきあきあきあきあきあきあき
あきあきあきあきあきあきあき
あきあきあきあきあきあきあき

あつちのうらなひのうらなひ
らんげらにひまのうらなひ
はとねのうらなひのうらなひ
くまのうらなひのうらなひ
はとねのうらなひのうらなひ
あつちのうらなひのうらなひ
らんげらにひまのうらなひ
はとねのうらなひのうらなひ
くまのうらなひのうらなひ
はとねのうらなひのうらなひ
あつちのうらなひのうらなひ

あつちのうらなひのうらなひ
らんげらにひまのうらなひ
はとねのうらなひのうらなひ
くまのうらなひのうらなひ
はとねのうらなひのうらなひ
あつちのうらなひのうらなひ
らんげらにひまのうらなひ
はとねのうらなひのうらなひ
くまのうらなひのうらなひ
はとねのうらなひのうらなひ
あつちのうらなひのうらなひ

留と申
運次
たのむ
毛の
も
べん
ん



